

平成30年度第3回地方独立行政法人京都市立病院機構理事会 議事録（要旨）

- 日 時： 平成30年6月26日（火） 午前10時30分から12時00分まで
- 場 所： 市立病院5階会議室
- 出席者： 理事長 森本 泰介
理 事 黒田 啓史, 半場 江利子, 松本 重雄, 位高 光司, 山本 壯太,
能見 伸八郎, 木村 晴恵
監 事 長谷川 佐喜男, 中島 俊則
事務局 阿部経営企画局次長, 長谷川担当部長, 大島担当副部長, 榎木担当副部長,
濱口経営企画課長, 石田総務担当課長, 北川京北病院事務長

1 開会

2 議事

(1) 平成29年度財務諸表等（案）について

資料1に基づき、阿部経営企画局次長から説明

- キャッシュフローについて、時期的に厳しいのはいつ頃か。
→ 北館整備等の元利償還金の返済があることから、30年度からの数年間は厳しい時期である。

(2) 平成29年度実績報告書（案）について

資料2-1に基づき、阿部経営企画局次長から説明

- 6月18日の大阪北部地震の際の病院の被害状況や職員の出勤状況等を教えてほしい。また、災害が起こった際のマニュアルは整備されているのか。
→ 本館のエレベーターが停止した以外に大きな被害はなかった。災害マニュアル、BCP（事業継続計画）も策定している。
即座に災害本部を立ち上げ、院内の災害に関する情報を集約し、DMAT隊員も要請があればすぐに出勤できる状態とした。
職員の出勤状況については、多くの職員は既に出勤していた。しかし、帰宅する際の交通手段が限られていたことから、タクシーで帰宅する職員や、院内に宿泊する場所を提供する等次の日に職員が出勤できるように努めた。
- エレベーターが停止した場合の対応はどのようになっているのか。
→ エレベーターが何らかの理由で停止した場合、一番近いフロアで停止する仕様になっているので閉じ込められることはない。本館は耐震構造、北館は免震構造で造られている。
- 小項目の評価で、「個人情報の保護」がAでない理由は何か。
→ FAXの誤送信があったため、B評価として、職員によるダブルチェックを行うなどの対策を講じている。
- 第4項目以降に記載されている「職員満足度の向上」、「医療の質や経営に関する指標の活用及び情報発信の推進」、「SPCとのパートナーシップの推進」等、A評価とするための対策を行っているのか。
→ 「職員満足度の向上」については、今年の重点項目の1つに定めており、改善に向けて積極的に取り組んでいる。病院職員の帰属意識を高めていきたい。
- 「広報媒体の充実と地域に対する積極的な情報発信」、「市立病院と京北病院の一体運営」については、A評価以上でも良いと思う。

(3) 監査報告書

資料3に基づき中島監事から29年度事業及び会計について適切に行われていたことを報告。

(4) 第2期中期目標期間事業報告書(案)について

資料4に基づき、阿部経営企画局次長から説明

- 優秀な人材を確保するには、雇用条件を良くするなど対応を考えてはどうか。

(5) 経営状況月次報告(5月)

資料5に基づき、森本理事長から説明

(6) その他

特になし

3 閉会